



労働安全衛生の推進

日油グループは、労働安全衛生の推進を、「5つの安全」に分類したRC活動の中の「労働安全」に関する活動として、活動目標を共有し取り組み、RCマネジメント体制に基づいて、各事業所の協力会社も含めて、グループ一体となった活動を展開しています。

労働安全衛生方針

日油グループは、労働災害の撲滅を目指し、外部業者を含むグループに関係する労働者全員が、安全に安心して働ける職場をつくる決意を明確にし、理想を実現するために、2006年4月に労働安全衛生方針を定めました。この方針のもと、労働安全衛生マネジメントシステム

を整備するなど、事業所、工場ならびにグループ会社ごとに、活動を展開しています。

労働安全活動（RC活動）

日油の事業所、工場ならびにグループ会社における労働安全活動状況は、定期的実施されるRC監査の中で確認されます。RC監査には、労働組合やグループ会社からも監査員が参画し、監査とともに、グループ全体のRC活動の活性化を図っています。その結果はRC委員会へ報告されるとともに、労働組合とも共有され、労使一体となった活動を展開しています。

また、日油グループでは従業員の安全と健康を確保するため、安全教育が重要であるとの認識のもと、安全衛生管理体制のさらなる充実、安全教育の促進など安全活動の強化を図っています。

労働安全衛生方針

基本理念

私たちは、化学企業グループとして『安全なくして事業の存立はない』との理念のもと、従業員と地域社会の「安全」と「健康」の確保に努めます。全ての役員ならびに従業員は、レスポンシブル・ケア活動に則り、緊密な業務連携のもとに『安全で安心して働ける職場』を構築し、積極的に労働安全衛生活動を推進します。

基本方針

- (1) 労働安全衛生に関する適切な自主管理システムを整備して、必要な管理と改善を継続します。
- (2) 作業環境の改善と設備の本質安全化を推進し、労働環境の変化を先取りしたリスク低減活動により労働災害の根絶を目指します。
- (3) 関連法規や自主的に定めた規定・基準を遵守します。
- (4) 快適な職場環境の形成に努め、健康保持・増進を支援します。
- (5) 労働安全衛生方針を全従業員に周知徹底するとともに、毎年あるいは必要に応じて見直します。

本方針は、広く一般に公開します。

(2015年4月 改定)



2024年度の安全活動結果と 2025年度のRC活動目標

2015年度より「完全ゼロ災」※1を目標に掲げ、労働災害ゼロを目指して活動を進めています。2024年度は死亡事故を防ぐことができましたが、労働災害が18件発生し、目標達成には至りませんでした。特に、「はさまれ・巻き込まれ」による災害が7件発生しており、引き続きこの分野での取り組み強化が求められています。

2024年度は、RC活動目標の重点課題として「不安全行動、不安全状態の撲滅」に取り組みましたが、勤続1年以下の従業員による災害が8件発生するなど、安全教育のさらなる強化が必要な状況です。この課題を受け、

2025年度は以下の取り組みを重点的に推進します。

- 「基本的安全行動」の実践強化
単なる徹底ではなく、個人が主体的に行動できる「実践」へと進化させます。
- 「はさまれ・巻き込まれ」災害の防止
業務手順の見直し、災害リスクの分析、作業環境の改善を進めます。
- 新入社員を含む体感型教育の早期導入
危険に対する感性を高める体感教育を研修に組み込み、職場での安全行動を促進します。
これらの活動により、「完全ゼロ災」の達成と、安全文化のさらなる浸透を目指します。

交通災害の撲滅

2024年度における交通安全活動では、通勤災害や業務上の交通事故の低減を目標に、事業所や関係会社ごとに独自の活動を展開しました。具体的には、「交通安全週間パンフレット配布」「警察署による安全講話」「交通スローガン横断幕掲揚」「交通ヒヤリマップの作成・周知」などを継続して実施しました。これらの取り組みにより、2024年度の加害・自損災害は9件（前年度比3件減少）、通勤災害や業務上交通災害の合計も22件（前年度比7件減少）と改善が見られました。しかし、目標達成には至らず、さらなる取り組みが求められています。

2025年度は、全員参加型の交通安全活動を通じて、交通災害ゼロを目指します。

2025年度 日油グループRC活動目標、労働安全実施項目

RC活動目標	労働災害：完全ゼロ災 交通災害：加害・自損災害ゼロ	
重点課題	全員参加と先取りによる ● 不安全行動、不安全状態の撲滅（はさまれ・巻き込まれ災害発生防止に注力） ● 交通災害の撲滅	
① 危険に対する感性の向上と基本的安全行動の実践		● 労働安全教育・訓練の実施 ● 危険予知能力の強化
	[労働安全]	● 三現主義に基づく対策の強化 ● 安衛則※2改正への確実な対応
② 災害リスクの低減		
	[交通安全]	● 加害・自損災害の原因の分析 ● 気付きを促す教育の強化

※1 休業および不休業災害ともにゼロとする日油グループ独自の取り組み目標

※2 労働安全衛生規則



運転シミュレーター教育（大分工場）



自転車シミュレーター教育（尼崎工場）



労働安全衛生におけるリスクと機会

分類	リスク項目	概要	対応（実施項目）
リスク	労働災害	● 製造工程で有毒物の吸入や化学物質による負傷によって従業員に直撃する重大事故が発生し、死亡ないし後遺症を負った本人や親族から賠償請求された	①危険に対する感性の向上と基本的安全行動の徹底 ● 労働安全教育・訓練の実施（2024年度：のべ時間26,226時間） ● 基本的安全行動ガイドラインの制定と周知 ● 重点課題「転倒、薬傷災害の防止」の展開 ②災害リスクの低減 ● 三現主義に基づく対策の強化（2024年度：RC監査20回） ● 安全点検の日（8月1日）の総点検の実施（2024年度：日油34部門、関係会社31箇所）
	化学物質の取り扱いミス	● 従業員が危険有害性のある化学物質の取り扱いを誤り、化学物質同士の混触により中毒ガスが発生し、それを吸引した複数の従業員が中毒症状となった	①危険に対する感性の向上と基本的安全活動の徹底 ● 製品安全教育・訓練の実施（2024年度：のべ時間2,249時間） ● 化学物質RAの実施（2024年度：日油1,498件、関係会社782件） ②災害リスクの低減 ● 三現主義に基づく対策の強化（2024年度：RC監査20回）
	交通事故（業務中の人身事故）	● 日油グループ社員が運転するトラックが、輸送中に人身事故を起こし、相手が多数死亡して社会的な評価が大きく毀損した。また、高額の損害賠償が必要となった	①危険に対する感性の向上と基本的安全活動の徹底 ● 交通安全教育の実施（2024年度：のべ時間26,226時間） ②災害リスクの低減 ● 加害・自損事故の原因と分析（2024年度：運転シミュレーター、実地講習、視聴覚教材教育など）
	交通事故	● 従業員が出勤途中に交通事故を起こし、本人が死傷したほか、通行中の第三者を死傷させた	
	物流事故	● トラック輸送中の事故で積み荷の危険物が道路に散乱し、周辺道路が一時通行止めとなり、納期遅延によって損害賠償請求された	①物流会社への安全指導 ● 物流安全教育・訓練の実施（2024年度：のべ時間3,115時間）
	保管中の損傷事故	● 倉庫内における容器の破損などにより、保管中の製品や倉庫の資機材などが滅失・損傷したほか、従業員が負傷した	
	火災・爆発	● 事業所で大規模な火災・爆発事故が発生した。設備・機械などに甚大な損傷が発生したほか、複数の従業員が死亡・負傷し、周辺地域の民家などにも爆風で被害が出た。多額の損害賠償や違約金が生じた上、長期にわたる操業停止を招いた	①防災・保安対策の強化 ● 設備安全教育・訓練の実施（2024年度：のべ時間390時間） ● 異常気象時・長期連休時の注意喚起（2024年度：気象関連5件、長期連休3件） ● 安全・防災設備の投資（2024年度：防災、安全作業、風水害対策など）
機会	整備・点検の不良による設備・機械の損傷・故障	● 工場で、高圧ガス設備、クリーンルームや真空乳化機などの重要な設備が破損して長期間操業が停止し、売上が減少した	②新設・変更時の安全評価の実施 ● SAの実施（2024年度：日油74件、関係会社47件）
	労働安全衛生に貢献する製品のニーズ拡大	【熱中症予防】示温材 【薬傷予防】有害物質不使用製品（ノニルフェノール代替製品）	● 労働安全衛生対応型製品の開発・提供



体験・体感型安全教育

日油グループは、労働災害防止のための教育手段として、疑似的に危険性を経験として学ぶ体験・体感型安全教育を導入し、従業員の危険に対する感受性や安全意識の向上を図っています。

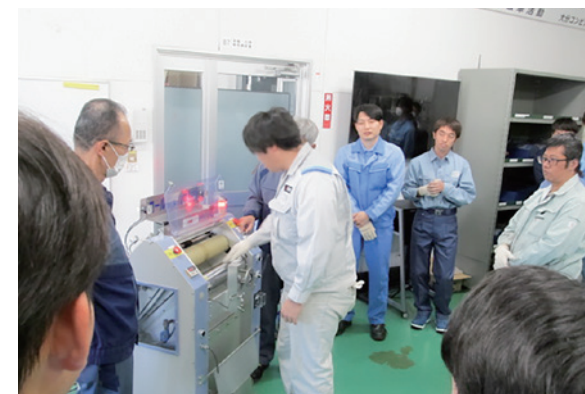
外部教育を主に行ってきましたが、社内にも体感教育を導入し、より現場に即した教育にも取り組んでいます。

個人の「安全実行宣言」活動（国内グループ）

2011年度に発生した労働災害の要因分析結果から、危険感覚の欠如、不注意などの人的要因による労働災害を撲滅するためには、安全意識の底上げが必要と判断しました。2012年度より、各人が労働安全に関する行動目標を自ら設定し活動する「安全実行宣言活動」を継続実施しています。場内の協力会社を含め全員の安全実行宣言を掲示板で公開するなど、各工場ごとに工夫して取り組んでいます。



危険体感教育（尼崎工場）



安全実技体験研修（大分工場）



赤十字救急法講習（大分事業所）



日油グループのRC教育訓練

日油グループの全従業員がRCに関して理解を深めるために教育に力を入れています。2024年度は、のべ46,420人が参加し、のべ35,791時間のRC関連の教育訓練を実施しました。



有機過酸化物の取り扱いに関する教育 (PT.NOF MAS CHEMICAL INDUSTRIES)



全員参加活動発表会 (大分事業所)

RC教育訓練 (2024年度)

日油グループ

分野	のべ参加人数 (人)	のべ時間 (時間)
RC全般	4,622	2,858
労働安全	32,825	26,226
環境安全	3,276	953
製品安全	4,595	2,249
設備安全	576	390
物流安全	526	3,115
総計	46,420	35,791

BCP訓練・教育

日油では、事業継続計画 (BCP) の実効性向上を目指し、地震、火災、感染症などの災害時対応に関する基本教育を継続的に実施しています。具体的には、「地震防災マニュアル」「感染症対策マニュアル」などに基づく行動基準の周知、安否確認システムを利用した緊急連絡訓練、漏洩防止訓練や初期消火訓練などを実施しています。

2024年度は、海外拠点でのサイバー攻撃や駐在員の安全確保などの複合的なリスクを想定した全社合同BCP訓練を実施しました。この訓練を通じて、非常事態対策本部と各拠点の情報共有体制を強化し、BCP計画

の有効性を確認しました。

今後もBCP教育と訓練を通じて、全社的な対応力を向上させていきます。



全社合同BCP訓練



防災訓練

日油グループでは、有機過酸化物をはじめとする危険物、火薬類を製造し、災害発生時に社内外への被害を最小限にとどめることを最重要事項と考え、積極的に防災

訓練に取り組んでいます。特に地域組織との合同防災訓練を定期的の実施することで、地域と一丸になった災害対策の強化を図っています。

また、地元自衛消防隊消火操法大会などにも積極的

に参加することで、消火技術の向上を図り、地域へ安全意識の高さをアピールしています。



総合防災訓練（川崎事業所）



高圧ガス防災訓練（尼崎工場）



初期消火訓練（大分事業所）



コンビナート総合防災訓練（大分事業所）



合同防災訓練（日油技研工業㈱）



防火安全協会消火技術大会（油化産業㈱）



防災訓練（常熟日油化工有限公司）



消火訓練（PT.NOF MAS CHEMICAL INDUSTRIES）



安全活動に対する表彰

日油グループでは、日頃の安全活動や危険物などの使用施設での無災害継続などが認められ、各種表彰を受けています。

尼崎工場、川崎事業所、油化産業(株)では、危険物に関する取り組みが評価され表彰を受けています。

(株)ジャパックスでは火薬保安に関する功績が評価され、表彰されています。

日油技研工業(株)では消防操法大会で優秀な成績を収め表彰されています。

日本工機(株)では安全運転への取り組み、NOFメタルコーティングス(株)、ニチユ物流(株)では健康や安全衛生に関する取り組みが評価され表彰されています。

これらの受賞を励みに、引き続き、安全活動や事故防止に努め、より一層安全管理の推進に取り組んでいきます。



関東甲信越地区危険物安全協会連合会 会長表彰「諸設備の充実と安全管理功労」(油化産業(株))

安全活動への表彰実績

事業所	受賞日	名称
尼崎工場	2024/6/12	一般社団法人日本ボイラ協会兵庫支部 優良ボイラー技士表彰受賞
	2024/6/13	一般社団法人兵庫県高圧ガス保安協会 優良高圧ガス保安責任者表彰受賞
	2024/11/15	一般社団法人日本ボイラ協会 優良ボイラー溶接士会長表彰受賞
川崎事業所	2025/1/9	臨港工場消防協議会 永年勤続優良危険物保安監督者表彰受賞
日本工機(株)	2025/2/21	北海道安全運転管理者協会 表彰受賞(死亡・傷害事故ゼロ達成の功績)
日油技研工業(株)	2024/5/23	埼玉県火薬類保安協会 永年勤続優良従業者賞
	2024/10/16	川越地区消防組合 自衛消防隊消防操法競技大会(屋外消火栓の部 優勝)
油化産業(株)	2024/5/9	関東甲信越地区危険物安全協会連合会 会長表彰受賞
NOFメタルコーティングス(株)	2025/3/10	健康経営優良法人2025(中小規模法人部門) 認定
(株)ジャパックス	2024/5/30	一般社団法人東京都火薬類保安協会 感謝状受領(協会理事および登録講師の長期歴任への功績)
ニチユ物流(株)	2024/7/3	大分労働局 安全衛生優良事業場等表彰奨励賞受賞



大分労働局安全衛生表彰(ニチユ物流(株))



安全・防災設備投資

日油グループでは、安全・防災関連対策として、爆発・火災・漏洩などを含めた事故防止対策、労働安全・作業環境改善対策などの設備改善工事を計画的に進めています。また、今後発生が予想されている大地震に備え、建物の耐震補強工事も計画的に進めています。

主な安全・防災設備投資（2024年度）

事業所	目的	内容
尼崎工場	安全作業	高所作業リスク低減対策、重量物吊具装置の設置、緊急用シャワー新設
千鳥工場	防災	防災用無線機増強、非常用発電機新設
大分工場	台風・大雨対策	建屋屋上防水対策
武豊工場	保安	入室管理システム導入、防犯カメラ増強
衣浦工場	作業環境改善	衛生設備改修、空調設備増設、換気設備増強

※1 機能損失災害：負傷が治った時に障がい（障害等級5級以上）が残る災害

※2 休業災害：休業1日以上の災害

※3 不休業災害を含むすべての災害

※4 度数率=のべ労働損失人員数／のべ実労働時間数×1000

2024年度労働災害の発生状況

労働災害発生実績（2024年度）

指標	対象	2022年度	2023年度	2024年度
死亡、機能損失災害（人）※1	日油本体（日本）	0	0	0
	関係会社	0	0	0
	（内訳） 日本	0	0	0
	アジア	0	0	0
	米州	0	0	0
	欧州	0	0	0
	場内協力会社	0	0	0
	死亡、機能損失災害度数率※4	0.00	0.00	0.00
休業災害（人）※2	日油本体（日本）	1	1	1
	関係会社	0	1	2
	（内訳） 日本	0	1	2
	アジア	0	0	0
	米州	0	0	0
	欧州	0	0	0
	場内協力会社	0	1	2
	休業災害度数率※4	0.17	0.50	0.80
全災害（人）※3	日油本体（日本）	1	3	9
	関係会社	3	3	8
	（内訳） 日本	3	3	7
	アジア	0	0	1
	米州	0	0	0
	欧州	0	0	0
	場内協力会社	2	2	2
	全災害度数率※4	1.01	1.35	3.06



注意喚起の実施

労働安全活動の一環として、RC活動を統括する設備・環境安全統括室より、定期・不定期に労働安全に関する注意喚起、安全活動に関する指示事項の通知や調査などの文書を発信し、グループ各社へ展開しています。定期的には、長期連休に対する安全・保安対策の実施、夏季の熱中症対策の徹底など、また、不定期には災害発生時や台風接近時など、必要に応じて追加の注意喚起や対策の指示などを行っています。このような注意喚起などの事項については、設備・環境安全統括室により対応状況の集約が行われ、RC監査などの機会にフィードバックを行うことで安全対策の強化、意識の向上を図っています。

災害発生時の原因究明・再発防止策の実施と情報の水平展開

労働災害が発生した場合、速やかに原因究明を行い、応急対策および恒久対策を計画・実行することが重要です。また、これらの情報はグループ各社と共有し、水平展開を通じて類似災害の防止に取り組んでいます。2024年度には、「はさまれ・巻き込まれ」災害の防止を重点課題とし、全社的な安全活動を推進しましたが、残念ながら7件の災害が発生しました。この結果を受け、2025

年度はさらなる対策強化を進めていきます。

特に「はさまれ・巻き込まれ」災害については、発生状況を詳細に分析し、リスクの高い作業や状況における具体的な予防策を策定します。また、勤続1年以下の従業員による災害が多発していることから、早期の安全教育と体感型研修を導入し、従業員一人ひとりの安全行動を強化します。これにより、「完全ゼロ災」の実現を目指します。

さらに、2025年度は、基本的安全行動の実践を進めるための「日油グループ安全基準ガイドライン」を活用し、全員参加による安全文化の浸透を図ります。特に、経験の浅い従業員を対象にした体感教育を早期に研修プログラムへ組み込み、危険に対する感性の向上と安全行動の徹底を図ります。

これらの取り組みを通じて、発生する災害リスクの低減と再発防止を徹底するとともに、グループ全体で安全文化をさらに深めることを目指します。



健康経営宣言

日油は、「従業員の安全と健康の確保、快適な職場環境づくりが企業の持続的な成長の基盤である」との考えのもと、従業員がこころ豊かな生活を実現するため、安全かつ快適な職場環境の整備を進め、いきいきと働くことができる職場を目指して、従業員の健康保持・増進に向けた取組みを推進してまいります。

2024年10月1日 代表取締役社長 沢村 孝司

重点項目



① 快適な職場環境づくり

- ・業務効率化の推進と長時間労働の抑制
- ・仕事と家庭の両立を支援する制度のさらなる拡充
- ・受動喫煙の防止

取り組み例

- ・全従業員を対象に誕生月に年次有給休暇の取得を奨励
- ・年次有給休暇の取得状況を把握し、上司と本人への取得喚起を実施
- ・上司と本人の面談時に取得状況を確認

年次有給休暇取得率 日油

2023年度 (実績)	2024年度 (目標)	2024年度 (実績)
76.0%	74%以上	79.1%

2025年度(目標) **75%以上**

2024年度目標から1ポイント引上げ



② メンタルヘルスケア

- ・ストレスチェックの受検を推奨
- ・メンタルヘルス教育によるセルフケア意識の向上
- ・メンタルヘルス相談体制の充実

取り組み例

- ・各箇所の(安全)衛生管理委員会にてストレスチェック結果を共有

ストレスチェック受検率
(休職者など除く) 日油

2023年度 (実績)	2024年度 (目標)	2024年度 (実績)
99.9%	99%以上	100.0%

2025年度(目標) **99%以上**

概ね全員が受検することを目標に99%以上と設定



③ 健康の保持・増進

- ・健康診断と適切な保健指導の確実な実施
- ・二次検診の受診勧奨と結果の把握
- ・日常生活における運動の促進

取り組み例

- ・健康リスク保持者への参加の働きかけ

健康づくりウォーキング
参加率 日油

2023年度 (実績)	2024年度 (目標)	2024年度 (実績)
51.0%	50%以上	55.4%

2025年度(目標) **50%以上**

概ね半数が参加することを目標に50%以上と設定

健康経営の取り組み

従業員の健康が企業の持続的な成長の基盤であるとの認識のもと、『挑戦』『公正』『調和』の価値観を体現する多様な人材が、イノベーション創出の担い手となる」とのアウトカムに向かって、収益性向上、人材確保・育成、イノベーションの創出などの主要な経営課題に対して、健康経営を戦略推進の基盤に位置付けて取り組みを進めています。日油は、社長による「健康経営宣言」を社内へ発信し、①快適な職場づくり、②メンタルヘルスケアの推進および、③健康の保持・増進の3つの課題を重点項目として周知しています。「健康経営宣言」は、取締役兼執行役員と役付執行役員が出席する政策会議で毎年審議を行っており、課題に応じた重点項目などの内容の充実に努めています。また、PDCAサイクルを回しつつ健康保険組合や産業医と連携を進め、従業員の意識向上と企業価値向上を進めていきます。



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門



重点項目① 快適な職場環境づくり

禁煙プログラム

日油は喫煙習慣のある従業員の健康増進や非喫煙者の受動喫煙の防止を図ることを目的に、オンライン禁煙外来プログラムの参加者を募集し、喫煙習慣のある従業員の禁煙をサポートしています。また、2025年1月から禁煙デーを設定し、喫煙者に禁煙を考えてもらうきっかけとなるよう努めています。

禁煙プログラム参加者

日油

2022年度 参加者数 **11** 名 達成者数 **9** 名

2023年度 参加者数 **10** 名 達成者数 **4** 名

2024年度 参加者数 **5** 名 達成者数 **3** 名

※ 達成者数はプログラム終了時点の人数です。

重点項目② メンタルヘルスケア

メンタルの疾患の予防・軽減

日油は、メンタルの疾患の予防・軽減および職場復帰支援までを含む総合的施策を推進しています。2009年よりストレスチェックを毎年度行い、ストレスチェックの結果を各事業所の安全衛生委員会で審議し、対策の検討・実施の取り組みを行っています。また、社外のカウンセリング窓口の設置による早期発見・適切な対処などに

つなげていくことや、「職場復帰支援プログラム」のもと、メンタル不調による長期欠勤者・退職者の円滑な職場復帰支援の取り組みなどを行っています。「職場復帰支援プログラム」の推進にあたっては、メンタルヘルス専門の産業医と連携し、専門的知見を参考にした取り組みを行っています。

また、2024年度は総合職主事昇格者研修で、メンタルヘルス（ラインケア）研修（29名）を実施し、職制を通じた従業員の心の健康保持、増進に向けた施策も推進しています。日油のストレスチェック受検率は、2024年度は100%となり、日油と国内連結5社のストレスチェック受検率は97.9%となりました。

重点項目③ 健康の保持・増進

健康づくり

日油は健康保持・増進のため、次の取り組みを進めています。

スポーツクラブを活用した体力づくり

2024年から開始し、在宅勤務や運動不足の解消、定年延長による高齢従業員の健康づくりなどが今後の課題となることを見据えて、初心者が気軽に参加できるように支援を開始しました。利用が難しい箇所もありますが、

200人を超える従業員が利用しています。

日油健康保険組合が主催する

「健康づくりウォーキング」への参加の推奨

日油健康保険組合では、健康診断結果から抽出したメタボ予備軍などの健康リスク保持者に対して、ウォーキングへの参加を働きかけて運動習慣定着のきっかけとなる取り組みを推進しており、日油の健康リスク保持者の2024年度の参加率は62.9%となり、日油と国内連結4社（日本工機㈱、日油技研工業㈱、昭和金属工業㈱、ニチユ物流㈱）の同参加率は、63.2%となりました。

また、このような取り組みを進めた結果、日油の2024年度の全体参加率は、55.4%となり、日油と国内連結4社（日本工機㈱、日油技研工業㈱、昭和金属工業㈱、ニチユ物流㈱）の同参加率は、57.4%となりました。

そのほか、日油健康保険組合では、機関紙「すこやか」の紙面において、健康に関するさまざまな情報を従業員へ提供することに加え、スポーツクラブと提携し従業員が安価に利用できる仕組みを整えています。





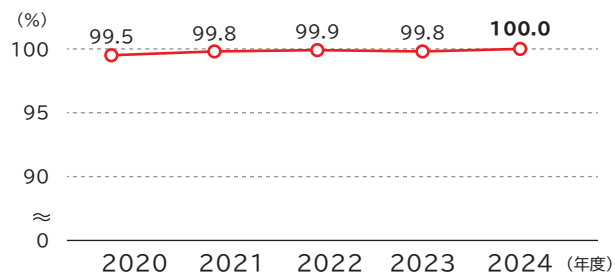
定期健康診断

定期健康診断は、法定の項目に加えて腫瘍マーカーなど任意のオプション検査を行っています。定期健康診断の実施後は、日油健康保険組合と協働し、効率的かつ効果的な特定健康診査および特定保健指導の実施に取り組んでいます。

日油の定期健康診断受診率は、2024年度100.0%、日油と国内連結5社の定期健康診断受診率は99.7%となりました。

また、日油の特定保健指導実施率は、2024年度36.9%となり、日油と国内連結4社（日本工機㈱、日油技研工業㈱、ニチユ物流㈱、昭和金属工業㈱）の特定保健指導実施率は、48.0%となりました。

定期健康診断受診率 日油



※ 休業中により定期健康診断を受診できないケースを含む。

健康測定会

日油は健康保持・増進は、従業員それぞれの気付きと意思が何より重要であることから、簡便な健康測定会を開催しています。血管年齢や食事状況を簡易に測定し、健康づくりへの取り組みのきっかけになるよう血管年齢や野菜の摂取過不足を数値化した情報をフィードバックしています。